

第2回 地方の活性化とユビキタスネット社会に関する懇談会

地域の抱える課題と 情報通信の可能性（神戸の事例から）

2006年12月14日

株式会社 神戸デジタル・ラボ

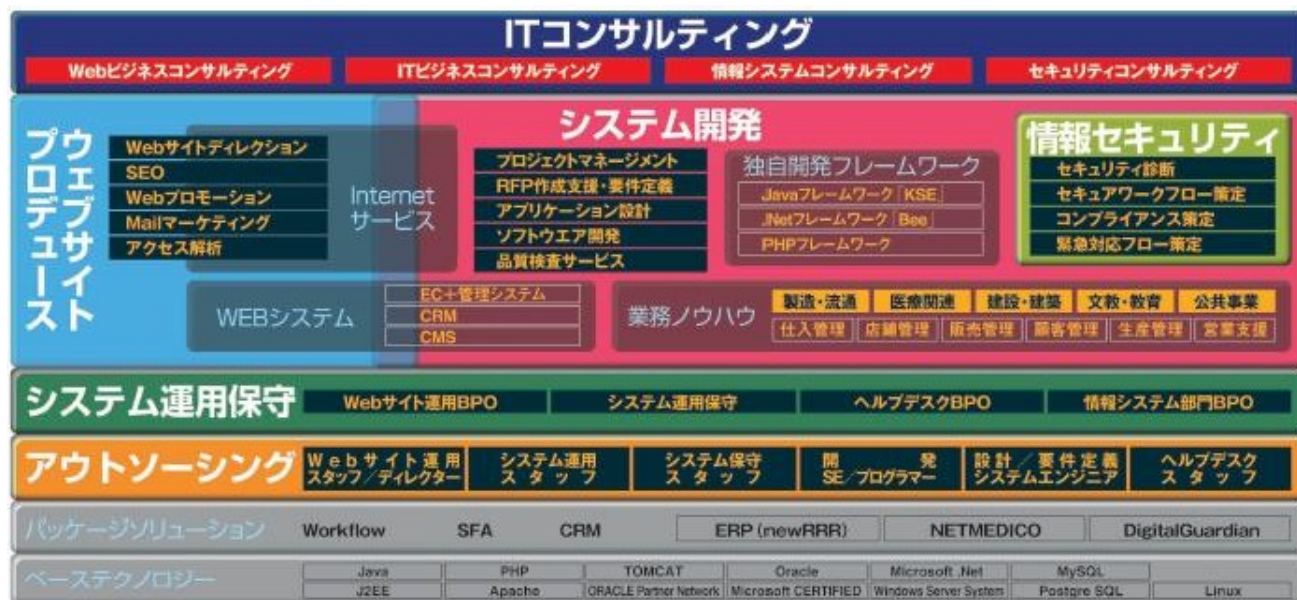
代表取締役 永吉一郎

(nagayoshi@kdl.co.jp)

株式会社 神戸デジタル・ラボ (Kobe Digital Labo, Inc)

- ・設立 : 1995年10月3日
- ・資本金 : 2億 995万円
- ・従業員 : 102名
- ・売上高 : 12.8億円 (2006年9月期)

震災の年に起業し、
地場に密着したベンダーとして
着実に成長を続けている。



	売上高
1997年9月	0.7億円
1998年9月	2.5億円
1999年9月	4.2億円
2000年9月	4.9億円
2001年9月	6.3億円
2002年9月	5.7億円
2003年9月	8.0億円
2004年9月	10.2億円
2005年9月	11.2億円
2006年9月	12.8億円

最近では、新規事業として、携帯電話向けブログサービス「**KRES**」や、SNSマーケティングツール「**WebTarte**」、飲食店舗開業お手伝いサービス「**店舗あるde.jp**」なども開始している。



発表の目的

神戸における地域情報化の現状と各種取り組みを紹介し、
「強い地方」を創造するための課題を明らかにすること

目次

1. 神戸の12年を振り返る
2. 神戸での地域情報化の現状（インフラ面）
3. 神戸での地域情報化の現状（サービス面）
4. 地域情報化の課題と留意点

1. 神戸の12年を振り返る

2. 神戸での地域情報化の現状(インフラ・行政)

3. 神戸での地域情報化の現状(サービス・民間)

4. 地域情報化の課題と留意点

神戸における地域情報化の歩み

1. 神戸の12年を振り返る

	神戸/兵庫 (Local)		日本・世界 (Global)
	民	官	
1994年		神戸国際マルチメディア文化都市(KIMEC)構想(神戸市、地域情報化を主要施策に)	
1995年	阪神・淡路大震災(1月) 神戸市復興計画 「神戸マルチメディア・インターネット協議会(KMIC)」発足		Windows95発売
1996年	神戸商工会議所 情報化推進委員会設置 地域FM「FMわいわい」開局		
1997年		神戸経済本格復興プラン(神戸市)	情報通信21世紀ビジョン
1998年	HAT神戸まちびらき・明石海峡開通		
1999年		都市内ネットワーク「神戸MAN」の移管 KIMEC2010 計画、神戸市高度情報化計画(神戸市)	
2000年			
2001年	地域ポータル「エキュイブ」スタート	ひょうごIT新戦略(兵庫県)	e-Japan戦略
2002年			
2003年	神戸で無線LAN「LUS」事業開始		e-Japan戦略Ⅱ
2004年	「自律移動支援プロジェクト 神戸プレ実証実験」開始		u-Japan戦略 ブログ普及
2005年	神戸情報大学院大学開学、カーネギーメロン大学日本校開学、神戸空港開港 こうべICT推進計画(神戸市) 「震災10年神戸からの発信」 地域SNS「ショコベ」開始		「Web2.0」登場
2006年	地域SNS「ひよこむ」開始	神戸からの発信ネットワーク	IT新改革戦略

神戸の12年（1995～2006年）

（逆説的だが） 神戸は震災のお陰で地域情報化が進んだ。

- ・ ネットワークインフラ「**神戸MAN**」(Metropolitan Area Network)の整備
: 神戸市全域で使えるプライベートネットワーク。災害時にも使える情報網。
→ 震災後、通信・放送機構(TAO)による実証実験で敷設され、神戸市に移管。
- ・ 「**神戸マルチメディア・インターネット協議会**」(KMIC)の結成
: 震災後100日で結成された官民一体で、インターネットの普及や関係団体間の情報共有の場として機能。(現在も継続)
→ 小さなICT企業も意見が出せる風通しの良い場に
- ・ 民間主導の**地域密着型ICTサービス**の登場
: 大きな資本を持たない企業や個人も地域密着型のICTサービスを開始。
(3で代表例を紹介)

1. 神戸の12年を振り返る

2. 神戸での地域情報化の現状 (インフラ)

3. 神戸での地域情報化の現状(サービス)

4. 地域情報化の課題と留意点

統計数字で見る地域情報化の現状

(1) 情報通信基盤の状況

・兵庫県のブロードバンド世帯普及状況 : **39.7%** (平成17年3月)

契約件数(万件)	兵庫県(H17)	全国(H17)
無線	0.002(0.0%)	2(0.1%)
FTTH	15(6.8%)	285(5.7%)
CATV	13(6.1%)	296(5.9%)
DSL	59(26.9%)	1,368(27.4%)
計	87(39.7%)	1,951(39.2%)

←全国より0.5%上

(2) インターネットの利用状況

・神戸市調査(平成16年度)

「インターネットをよく利用している」 : **28.4%**

「インターネットをたまに利用している」 : **17.4%**

(3) 神戸市内情報関連企業の集積状況と情報化の現状

・神戸商工会議所調査(平成16年度)

「積極的にIT化を推進している」 : **26.7%**

「ホームページを開設している」 : **63.5%**

神戸市の計画

「神戸ICT推進計画」(2005年) ←「KIMEC2010計画」、「神戸市高度情報化計画」が統合

第10章”新たな地域情報化プラン”

・2010年までのチャレンジ目標 (「ともに目指そう値」)

*インターネットの市民普及率	90%
*情報関連産業の事業所数	1,000所
*情報関連産業の従業者数	17,000人
*市役所への電子申請可能な手続き数	160手続

・重点事業

*ICTを生かした豊かで快適な市民生活の実現

- 多機能icカード「KOBE PiTaPa」によるサービス提供
- 自律移動支援プロジェクトの推進

*ICTを生かした神戸経済の活性化

- 「アニメーション神戸」の継続開催とデジタル映像関連企業の集積と人材育成
- 医療産業都市構想関連企業群の企業情報のデータベース化と情報発信

*電子市役所の実現

- 行政手続の電子化

*地域情報化推進のための環境整備

- 個人情報保護・情報セキュリティ対策の充実

神戸/兵庫における地域情報化推進主体

<神戸市>

- ・神戸市 企画調整局 情報化推進課 「官」
- ・「神戸マルチメディアインターネット協議会」 「官」・「民」

<兵庫県>

- ・兵庫県 企画管理部 教育・情報局 情報政策課(地域情報化係) 「官」
- ・「兵庫ニューメディア推進協議会」 「官」・「民」

<民間>

- ・神戸商工会議所 情報化推進委員会 「民」

1. 神戸の12年を振り返る
2. 神戸での地域情報化の現状(インフラ)
3. 神戸での地域情報化の現状
(サービス)
4. 地域情報化の課題と留意点

民間主導の地域密着型サービス

- | | |
|--------------------|-----------------|
| ① 公衆無線LANサービス「LUS」 | : NPO＋株式会社 |
| ② 地域ポータル「エキュイブ」 | : NPO |
| ③ 地域SNS「ショコベ」 | : LLP(有限責任事業組合) |
| ④ 地域ネットTV「KOBE.TV」 | : 株式会社 |
| ⑤ 地域FM「エフエムわいわい」 | : 株式会社 |
| ⑥ 地域ブログ「神戸ブログ」 | : 株式会社 |

行政主導の地域密着型サービス

- | | |
|---------------------------|--------------|
| ⑦ 情報ボランティア「兵庫県地域情報化サポーター」 | : 兵庫県 |
| ⑧ 実証実験「自律移動支援プロジェクト(神戸)」 | : 国交省＋県・市＋民間 |
| ⑨ 実証実験「まちづくりナビプロジェクト(神戸)」 | : 国交省＋神戸市 |

①公衆無線LANサービス「LUS」(Landmark Ubiquitous Service)



神戸にフリーインターネット接続エリアを広げる
それがLUSです。

LUSって何? LUS(FREE SPOT)の特徴 こんなシーンで活躍!! LUS活用術

ご利用される一般ユーザー様 参加をご希望される店舗様 協賛をご希望される企業様

設置店舗ご紹介キャンペーン実施中!!
新規に設置可能なお店をご紹介しますと、
1店舗につき年会費の中から1,000円をキャッシュバック!
最大2店分(2,000円)までキャッシュバックいたします!

intel. BUFFALO. NTT 西日本. Digital Circus. move. Kobe Digital Labo

新着ニュース

- 02/28 北野「UPWARDS」さんLUSサービスイン
- 02/16 トアロードカフェレストラン「er-ror」さんLUSサービスイン
- 02/15 トアロード「HOTEL TORROAD」さんLUSサービスイン
- 07/29 サンキタ「Si l'essence」さんLUSサービスイン
- 07/05 加納町「Blu Panchino」さんLUSサービスイン
- 06/11 北野「MIDNIGHT CAFE grt-grt」さんLUSサービスイン
- 05/26 神戸新聞(朝刊)に紹介されました。
- 05/07 サンキタ「Mandarin」さんLUSサービスイン
- 05/07 元町「Guest Place LUCY(ゲストプレイスルーション)」さんLUSサービスイン
- 04/08 LUSウェブサイトリニューアルしました。
- 04/07 磯上「Battery CAFE(バッテリーカフェ)」さんLUSサービスイン
- 04/06 北野「league(リーグ)」さんLUSサービスイン
- 04/06 ハーバーランド「ZABUN(ザブン)」さんLUSサービスイン

ホーム | お問い合わせ

2003-2004 © LUS - Landmark Ubiquitous Service - All rights reserved.

○神戸にフリーインターネット接続エリアを広げる試み

○2003年12月スタート

○地元企業とNPOが協議会を結成

- ・特定非営利活動法人デジタルサーカス

(<http://www.digitalcircus.jp/>)

- ・株式会社ムーブ

(<http://www.move.co.jp/>)

- ・株式会社神戸デジタルラボ

(<http://www.kdl.co.jp/>)

○市内約400拠点を目標に活動中

<http://www.lus-kobe.com/>

民間主導の地域密着型サービス

3. 神戸での地域情報化の現状(サービス)

②地域ポータル :「エキュイブ」(equiv)



○神戸を代表する生活文化情報サイト
: 兵庫県の「コミュニティビジネス離陸応援事業」
の支援を受けて作成

○特定非営利活動法人「デジタルサーカス」が運営
: 中小商業店舗の情報発信等の支援を通して
魅力あるまちづくりに寄与することを目的とする

○2001年8月スタート

○神戸市内で約250店舗の情報を掲載

<http://www.equiv.net/>

③地域SNS :「ショコベ」(SHOKOBE)



<http://shokobe.com/>

○神戸を代表する地域SNS

: 2006年神戸市ソーシャルベンチャーアワード
(審査員特別賞)受賞

○「ショコベ有限責任事業組合(LLP)」が運営

: 神戸に愛着のある人々を繋げ、神戸の街に宿る魅力の
再確認・再発見を促す

○2005年12月スタート

○現在約1900人の登録者

④地域ネットTV : 神戸発インターネット放送局「KOBETV」



○神戸のインターネット放送局

: 神戸を楽しむためのスポット情報、神戸にまつわるアーティストなど、あらゆるコンテンツを映像化し、高品質なストリーミングで動画配信。

○神戸の若手クリエイター支援

: 神戸の学生を中心とした若手クリエイターが手軽に発信できる場として機能。

○2006年4月スタート

○株式会社「サンストリーム」が運営

: 独自のストリーミング技術で高画質の動画を配信

<http://www.kobe.tv/>

⑤地域FM :神戸・長田のコミュニティ放送局「FMわいわい」



○神戸の地域密着FM放送局

神戸で最も多国籍な住民が集まる長田区で
10ヶ国語の多言語放送を提供。
(震災後の多言語情報の少なさが契機)

○震災1年後の1996年1月17日開局

:被災地の中心部にプレハブで開局
(当初は被災した外国人への情報提供を主目的に)

○株式会社「エフエムわいわい」が運営

○インターネットやCATV等からも視聴可能

:技術的には先進的な試みを数々を行っている

<http://www.tcc117.org/fmyy/>

民間主導の地域密着型サービス

3. 神戸での地域情報化の現状(サービス)

⑥地域ブログ : 「神戸ブログ」



○地域活性化のためにブログサービスを提供
: 神戸に関するブログを書きたいユーザへ無料で
ブログサービスを提供

○2006年2月スタート

○株式会社「クークー」が運営
: 地域マーケティング会社
地域活性化を目的に運営
→最近は他の地域へもサービスを展開
(京都ブログなど)

<http://kobe.areablog.jp/>

⑦情報ボランティア：「兵庫県地域情報化サポーター」



○兵庫県下の情報化支援ボランティアを登録
:「パソコン相談」や「ITセミナー、講師派遣」、「HP作成」、
「ネットワーク構築」などを支援する個人・組織を登録。

○兵庫県の情報コミュニティ化を促進
:兵庫県下各地域で情報コミュニティづくりが展開されるよう、県民・他団体への活動ノウハウの提供やITの活用についての普及啓発、高齢者等県民の情報リテラシーの向上など、行政との連携によりコミュニティの情報化を推進する。

○2001年「ひょうごIT新戦略」の一環として設置
：兵庫県・情報政策課が事務局。

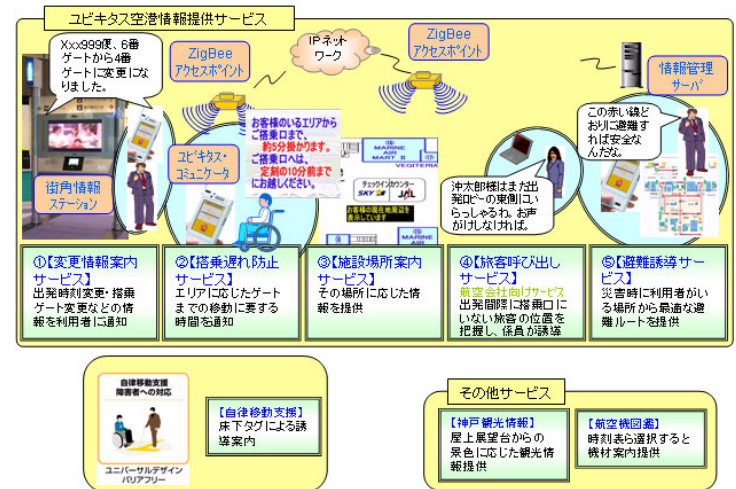
http://web.pref.hyogo.jp/pa11/pa11_000000004.html

⑧ 実証実験「自律移動支援プロジェクト(神戸)」
: ユビキタス空港情報提供サービス等

- ・ICタグを用いた地域での情報流通を目指す
- ・国土交通省、兵庫県、神戸市、YRPユビキタス研究所が中心となり実施。
(技術サポーター企業としてKDLも参加)

⑨ 実証実験「まちづくりナビプロジェクト(神戸)」
:二次元コードによる歩行者案内高度情報化

- ・二次元コード（QRコード）による街中情報流通
- ・国土交通省近畿運輸局の平成18年度実証実験の一つ（株式会社コードコム の技術を利用。神戸市建設局が協力）



1. 神戸の12年を振り返る
2. 神戸での地域情報化の現状(インフラ)
3. 神戸での地域情報化の現状(サービス)
- 4. 地域情報化の課題と留意点**



神戸における地域情報化の課題

- ① 地域情報化の**推進体制**が脆弱・非効率
→複数の組織はあるが、互いの連携が弱い。
専任の人物は殆どいない。(進めようという意思はあるが・・・)
- ② 地域密着サービスを立ち上げたのは良いが**続かない**
→サービスが乱立しており、地域全体での協力が無い。
資本が続かない。
- ③ 自立した**地場ベンダー**が少ない
→自治体も大手ベンダーへの依存度が高い
- ④ 「官」や「民」の立場を越えた「**公**」的意識が弱い
→互いにもう一歩ずつ歩み寄る必要がある

神戸でも全国に通用する「公」的活動もある！

・社会福祉法人 プロップ・ステーション 理事長 竹中ナミさん <http://www.prop.or.jp/>



コンピュータを活用して、障害を持つ人(challenged: チャレンジド)の自立と社会参加、とりわけ就労の促進や雇用の創出を目的に活動

キャッチフレーズは「challengedを納税者にできる日本」

チャレンジドにも雇用機会を創出することで地域を活性化！

・NPO法人 コミュニティ・サポートセンター神戸(CS神戸) 理事長 中村順子さん

<http://www.cskobe.com/>



阪神・淡路大震災を契機に生まれたボランティアグループ「東灘地域助け合いネットワーク」を母体に「自立と共生」に基づくコミュニティづくりを支援するサポートセンターとして1996年10月に発足。

アナログな活動でも地域内コミュニティは活性化できる！

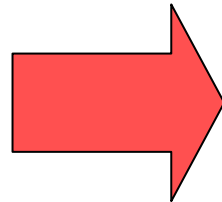
「WEB2. 0」の考え方を「地域」へ応用しましょう！

「Web2. 0」とは？

インターネット技術の普及と利用者の増加・利用形態の変化によって現れた新しいウェブのあり方の総称。

「7つの原則」から成っており、今日成功しているインターネットサービスにはいずれかの原則が当てはまる

- ① フォークソノミー
- ② ユーザーは協力者
- ③ 進歩的性善説
- ④ ロングテール
- ⑤ ユーザー参加
- ⑥ リッチインターフェース
- ⑦ 進歩的分散志向



地域住民（ユーザー）を

- ・信頼し（③）
 - ・協力者として（②）
 - ・自発的に参加してもらえる（⑤）
- ような
- ・域内分散型（⑦）の

ネットワーキングを進めていくことが重要

「地域SNS」には可能性も大いにあるが、万能ではない

①神戸の地域密着型SNS「ショコベ」(<http://shokobe.com/>) : 2005年11月～

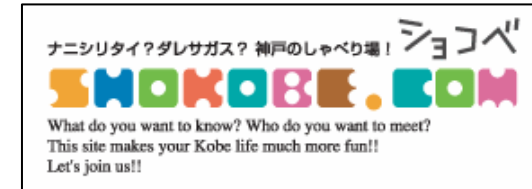
: 神戸の20-30代若手5名がLLPを結成し運営

(デザイナー、弁護士、ITエンジニア等)

→2006年度神戸市ソーシャルベンチャーアワード受賞

: 20～30代中心。会員数 約1,800名。

各区分のコミュニティ等で活発にオフ会も開催されている



②兵庫県のコミュニティ活動支援型SNS「ひよこむ」(<http://hyocom.jp/>) : 2006年9月～

: 播磨のIT会社インフォミーム株式会社

(代表取締役和崎宏氏)が開設・運営

: 兵庫県 県民交流広場関係者を中心に参加。

: 40-50代中心。会員数 約1,200名。

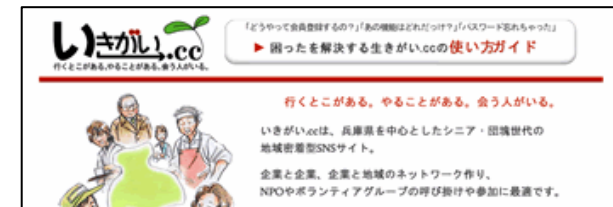


③兵庫県のシニア向けSNS「いきがい.cc」(<http://www.ikigai.cc/>) : 2006年12月～

: NPO法人しゃらく／シニア生きがいしごと

サポートセンターNEXTが開設・運営

: シニア世代中心。会員数 約100名。



最後に・・・

「強い地方の創造」とは、
中央と同じ強さを手に入れることなく、
地域間格差は前提として受け入れ、
地域内資源を原資にした持続的発展の仕組みを
独自に構築すること

その具体的な方法論を議論していきましょう！

ご静聴、ありがとうございました。

